

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
99・8・27 No. 5010

団結の基礎を築く役割を果たし20年 『日刊』5000号記念の集い



第一部の記念講演

八月二二日十二時より、パ
イホテルにおいて、「日刊動
労千葉五〇〇〇号記念講演会・
記念パーティー」が、組合員・
家族会・来賓八〇名の結集で、
盛大に開催されました。

七七年創刊から 二十年五千号に

第一部の最初に田中書記長か
ら「日刊動労千葉は一九七九年
一月に創刊されてから二十年、
五千号を迎えることになった。
日刊は二十年の節々で、情勢や
方針を組合員に伝え、また各現
場の声を全体に反映し、当局や

JR総連に対しては鋭い武器と
なって、団結の基礎を築く大き
な役割りを果たしてきた。これか
ら一萬号、二萬号に向けた発
行の継続と内容のより一層の充
実、そして闘う労働運動の再生
のために、初心にかえって新た
なスタートをきる決意である。
」とのあいさつが行なわれまし
た。

佐藤昭夫先生が 記念講演

つづいて、佐藤昭夫先生(早
稲田大学名誉教授)より「動労
千葉に期待する」と題した講演
をうけました。戦時体制の準備
と国鉄分割民営化、法律と裁判
所、「日の丸・君が代」法と国
家主義的継続性、国労臨時大会
前後の状況などをわかりやすく
講演して頂き、また日刊動労千
葉五千号は、今日にいたる国鉄
闘争の中で組合の存在を身近に
感じさせ、組合員と組合とを結
びつけてきた。闘いを支え事実
を知らせるために『日刊』があ
る。動労千葉への期待は、国鉄
労働者として社会的責任をはた
し自らの闘いで運命を決めてほ
しい。」と講演された。

継続は力なり 動労千葉支える

第二部にうつり、中野委員長
は「日刊動労千葉五千号を迎え
、われながらよくここまで来た

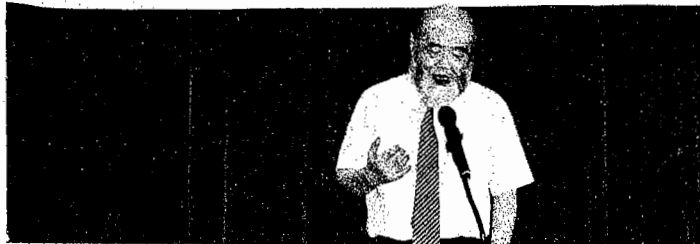
ものだと思ふ。毎年二五〇号、
継続は力なりの言葉に示される
とおり、動労千葉を支えてきた
。またそれを支えた組合員に感
謝する。『日刊』をわれわれの
武器にして、組合を発展させて
下さい。」とあいさつされた。

発行の苦勞など 日刊に話が弾む

つづいて教宣部からの提起の
後、布施副委員長の音頭で乾杯
を行い歓談に入りました。途中
、船橋市議会議員・中江昌夫さ
ん、家族会佐藤会長のあいさつ
と、歴代編集委員長を代表して
、初代布施さん、外山さん、現
在の関さんより『日刊』発行の
エピソードや苦勞話をはさみ、
各支部代表のあいさつなど二時
間余の和やかで楽しい時間が流
れた。

国鉄労働者として社会的責任を

『日刊動労千葉』 5000号記念講演



第二部は日刊の二十年を振り返る

最後に中村組織・教宣部長か
ら「これからもより一層の内容
的な充実をはかり、組合員の要
望に応えることのできる『日刊
』にしていこうと思ひます。わ
れわれの闘いの勝利のために団
結してガンバリ」で日刊動労
千葉五千号記念の集いは、大成
功の内に終了した。

御宿町議選へ
全組合員の
総決起を